

## ⑱ 公開特許公報 (A) 昭62-219740

⑲ Int.Cl.  
H 04 M 1/64  
11/00

識別記号

府内整理番号  
D-7608-5K  
7345-5K

⑳ 公開 昭和62年(1987)9月28日

審査請求 未請求 発明の数 2 (全4頁)

㉑ 発明の名称 電話機

㉒ 特願 昭61-60699

㉓ 出願 昭61(1986)3月20日

㉔ 発明者 松井 弘行 横須賀市武1丁目2356番地 日本電信電話株式会社複合通信研究所内

㉕ 発明者 下原 勝憲 横須賀市武1丁目2356番地 日本電信電話株式会社複合通信研究所内

㉖ 発明者 德永 幸生 横須賀市武1丁目2356番地 日本電信電話株式会社複合通信研究所内

㉗ 出願人 日本電信電話株式会社 東京都千代田区内幸町1丁目1番6号

㉘ 代理人 弁理士 小林 将高

## 明細書

## 1. 発明の名称

電話機

## 2. 特許請求の範囲

(1) スケジュールおよびこのスケジュールにおける不在時の時間別の連絡先が記憶される記憶媒体と、この記憶媒体に前記スケジュールおよびこのスケジュールにおける不在時の時間別の連絡先の書き込みおよびその読み出しを行う書き込み／読み出し回路と、着呼時に時間情報を送出するタイマと、着呼時に前記タイマからの時間情報を受けてその時の前記スケジュールを読み出し、このスケジュールが不在となっている時にはさらにその時の連絡先を読み出して発呼者に通知する制御回路とを備えたことを特徴とする電話機。

(2) スケジュールおよびこのスケジュールにおける不在時の時間別の連絡先電話番号が記憶される記憶媒体と、この記憶媒体に前記スケジュールおよびこのスケジュールにおける不在時の時間別の連絡先電話番号の書き込みおよびその読み出し

を行う書き込み／読み出し回路と、着呼時に時間情報を送出するタイマと、着呼時に前記タイマからの時間情報を受けてその時の前記スケジュールを読み出し、このスケジュールが不在となっている時にはさらにその時の連絡先電話番号を読み出して自動着信転送を行う制御回路とを備えたことを特徴とする電話機。

## 3. 発明の詳細な説明

## (産業上の利用分野)

この発明は、不在時の着信処理を自動的に行う電話機に関するものである。

## (従来の技術)

従来、不在時の着信に対しては、留守番電話によりあらかじめテープ等に録音しておいたメッセージおよび所在地を発呼者に通知したり、自動着信転送電話によりあらかじめ設定しておいた電話番号への自動着信転送を行っていた。

しかし、上記のような留守番電話および自動着信転送電話における不在時の所在地・転送先等の設定は使用者が不在となる前に手帳のスケジュー-

ル等から調べて入力する必要があったため、その操作がわざらわしかった。

また不在時に使用者が時間の経過に伴って複数の場所を移動する場合に、留守番電話においては録音しておく所在地を、例えばA時～B時まではX、B時～C時まではY、C時～D時まではZ等のようにする必要があり、着信時のメッセージの再生時間が長くなつて、効率が悪くなり、自動着信転送電話においては、時間の経過に伴う転送先の設定変更が行えないという問題点があった。

この発明は、かかる問題点を解決するためになされたもので、不在時に使用者が時間の経過に伴つて複数の場所を移動する場合にも効率よく着信処理を行える電話機を得ることを目的とする。

#### (問題点を解決するための手段)

この発明の第1の発明に係る電話機は、スケジュールおよびこのスケジュールにおける不在時の時間別の連絡先が記憶される記憶媒体と、この記憶媒体にスケジュールおよびこのスケジュールに

おける不在時の時間別の連絡先の書き込みおよびその読み出しを行う書き込み／読み出し回路と、着呼時に時間情報を送出するタイマと、着呼時にタイマからの時間情報を受けてその時のスケジュールを読み出し、このスケジュールが不在となっている時にはさらにその時の連絡先を読み出して発呼者に通知する制御回路とを備えたものである。

この発明の第2の発明に係る電話機は、スケジュールおよびこのスケジュールにおける不在時の時間別の連絡先電話番号が記憶される記憶媒体と、この記憶媒体にスケジュールおよびこのスケジュールにおける不在時の時間別の連絡先電話番号の書き込みおよびその読み出しを行う書き込み／読み出し回路と、着呼時に時間情報を送出するタイマと、着呼時にタイマからの時間情報を受けてその時のスケジュールを読み出し、このスケジュールが不在となっている時にはさらにその時の連絡先電話番号を読み出して自動着信転送を行う制御回路とを備えたものである。

#### (作用)

この発明の第1の発明においては、着呼があると制御回路によりその時のスケジュールが記憶媒体より読み出され、このスケジュールが不在となっている時にはさらにその時の連絡先が記憶媒体より読み出されて発呼者に通知される。

この発明の第2の発明においては、着呼があると制御回路によりその時のスケジュールが記憶媒体より読み出され、このスケジュールが不在となっている時にはさらにその時の連絡先転送番号が記憶媒体より読み出されて自動着信転送が行われる。

#### (実施例)

第1図はこの発明の第1の発明の一実施例を示す構成図で、1は通話回路、2は発信回路、3は制御回路、4は着信回路、5は電子式ファックススイッチ、6は記憶媒体、7は書き込み／読み出し回路、8はタイマ、9はハンドセット、10はダイヤル、11はサウンダ、12はスケジュール設定キーである。

次に動作について説明する。

まず、外出予定がある場合には、あらかじめスケジュールおよびこのスケジュールにおける不在時の時間別の連絡先をダイヤル10およびスケジュール設定キー12を用いて書き込み／読み出し回路7より記憶媒体6に記憶しておく。そして着信によって着信回路4が起動すると同時に制御回路3も起動し、タイマ8より送出される時間情報に基づいて記憶媒体6よりその時間のスケジュールが書き込み／読み出し回路7を介して読み出される。この時、読み出されたスケジュールが不在となっていなければ、通常の着信動作が行われサウンダ11が鳴動するが、読み出されたスケジュールが不在となっていれば、制御回路3によって電子式ファックススイッチ5が通話回路1側に切り換えられ、次いで記憶媒体6よりその時の連絡先およびメッセージが読み出され、通話回路1を介して網へと送出される。こうして発呼者は相手のメッセージおよび連絡先をより確実にすみやかに知ることができる。

なお、記憶媒体6に磁気カード、ICカードを用いて携帯可能とすることにより、一度設定したスケジュールパターンを保持することができ、同じスケジュールパターンおよび連絡先をわずらわしい操作により再度設定しなくても記憶媒体6を交換するだけでよくなる。

第2図はこの発明の第2の一実施例を示す構成図で、第1図と同一符号は同一部分を示し、5a、5bは電子式ファックスイッチ、13は制御回路、16は記憶媒体である。

次に動作について説明する。

まず、外出予定がある場合には、あらかじめスケジュールおよびこのスケジュールにおける不在時の時間別の連絡先電話番号をダイヤル10およびスケジュール設定キー12を用いて書き込み／読み出し回路7より記憶媒体16に記憶しておく。そして、例えば電子式ファックスイッチ5a側に着信があると、着信回路4が起動すると同時に制御回路13も起動し、タイマ8より送出される時間情報に基づいて記憶媒体16よりその時間の

スケジュールが書き込み／読み出し回路7を介して読み出される。この時、読み出されたスケジュールが不在となっていなければ、通常の着信動作が行われサウンド11が鳴動するが、読み出されたスケジュールが不在となっていれば、制御回路13によって電子式ファックスイッチ5bが通話回路1側に切り換えられ、次いで記憶媒体16よりその時の連絡先電話番号が読み出されて発信回路2へと送出される。発信回路2はこの連絡先電話番号への発信接続を行い、同時に電子式ファックスイッチ5aを通話回路1側に切り換え、これにより自動着信転送が完了する。したがって、この発明では使用者が不在で複数の場所を移動している場合にもより確実に連絡をとることができる。

なお、記憶媒体16に磁気カード、ICカード等を用いて携帯可能とすることにより、一度設定したスケジュールパターンを保持することができ、同じスケジュールパターンおよび連絡先電話番号をわずらわしい操作により再度設定しなくとも記憶媒体16を交換するだけでよくなる。

#### 〔発明の効果〕

以上説明したようにこの発明の第1の発明は、スケジュールおよびこのスケジュールにおける不在時の時間別の連絡先が記憶される記憶媒体と、この記憶媒体にスケジュールおよびこのスケジュールにおける不在時の時間別の連絡先の書き込みおよびその読み出しを行う書き込み／読み出し回路と、着呼時に時間情報を送出するタイマと、着呼時にタイマからの時間情報を受けてその時のスケジュールを読み出し、スケジュールが不在となっている時にはさらにその時の連絡先を読み出して発呼者に通知する制御回路とを備えたので、使用者が時間の経過に伴って複数の場所を移動する場合にも相手にその連絡先をすみやかに効率よく通知することができるという効果がある。

またこの発明の第2の発明は、スケジュールおよびこのスケジュールにおける不在時の時間別の連絡先電話番号が記憶される記憶媒体と、この記憶媒体にスケジュールおよびこのスケジュールにおける不在時の時間別の連絡先電話番号の書き込

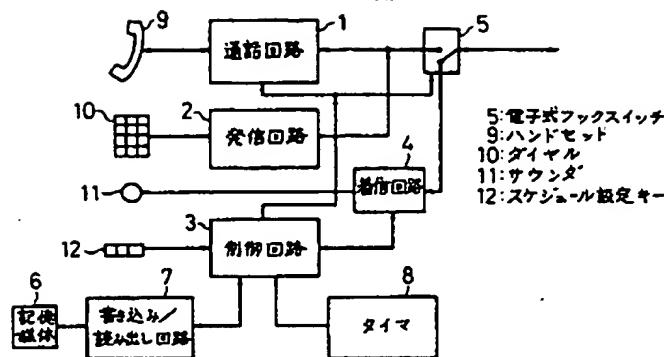
みおよびその読み出しを行う書き込み／読み出し回路と、着呼時に時間情報を送出するタイマと、着呼時にタイマからの時間情報を受けてその時のスケジュールを読み出し、このスケジュールが不在となっている時にはさらにその時の連絡先電話番号を読み出して自動着信転送を行う制御回路とを備えたので、使用者が時間の経過に伴って複数の場所を移動する場合にもより確実に連絡をとることができ、効率よく着信処理を行うことができるという効果がある。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図はこの発明の第1の一実施例を示す構成図、第2図はこの発明の第2の一実施例を示す構成図である。

図中、1は通話回路、2は発信回路、3、13は制御回路、4は着信回路、5、5a、5bは電子式ファックスイッチ、6、16は記憶媒体、7は書き込み／読み出し回路、8はタイマ、9はハンドセット、10はダイヤル、11はサウンド、12はスケジュール設定キーである。

第 1 図



第 2 図

